

第2回緑区地域福祉計画策定委員会議事要旨

日時：平成17年3月27日（日）午後2時～4時

場所：緑区役所 講堂（5階）

出席委員：25名中17名出席

（敬称略、フォーラム順）

欠席委員：大槻委員、岡本委員、岩崎委員、高良委員、坂口委員、前田委員、高橋委員、小林委員

事務局：保健福祉総務課 片岡参事、和田副主査

緑区長 小川

介護保険課 木村主事

緑区福祉事務所 石井係長

社会福祉協議会 高吉主任主事

関係者：0名

傍聴人：0名

会議内容

次第に従い、会議が進められた。

< 議題 >

（1）緑区地域福祉計画の中間とりまとめについて

委員長より、資料1「緑区地域福祉計画の中間とりまとめ」に基づき説明、下記の意見をjて承認を得た。

（質疑応答）

委員：「基本理念に、障害者が希望をもって学び、働けるために」とあるが、「学び」は古い考え方である。

現在の考え方はノーマライゼーションで、「地域で生きる、地域で抱える」にして欲しい。

委員長：各フォーラムからの作業部会で20日にとりまとめたが、「学び」は今後検討する。

事務局：「学び」については、副委員長と事務局で作業部会後に修正した。

委員：「障害のある子もない子も共に育ち、学べる」という意見が作業部会であったが、「未来の子どもたちのため」に含まれ

るということで確認したと思う。

委員： 「障害者が希望を持って地域で生きるために」にしたらどうか。

委員： 「障害者が希望を持って地域に生き、働けるために」にしたらどうか。

委員長： 「障害者が希望を持って地域に生き、働けるために」にします。

委員： 人材活用協力者に町内会が出ているが、自治会もある。町内自治会に統一でどうか。

委員： 基本的な考えの中の「人」と「動」の違いがわからない。また、「動」に行政支援を加えてはどうか。

委員長： 「動」は「資源」にします。

委員： 6頁、解決策の障害者欄に「4 障害者の地域で生きるための核となる支援センターを作る」を入れて欲しい。

委員長： 障害児については、住民全体での議論が必要ではないかということであえて記述していない。

委員： 国の動きは進んできている。三障害（身体・知的・精神）がひとつの枠の中で議論されることになる。

政策を統一していく流れになっていることを皆様に理解していただきたい。

委員： 6頁、地域の課題、障害者に「機会がない」は「少ない」もしくは、「十分でない」に変更してはどうか。

9頁、「窓口がない」は福祉事務所には手話通訳が常駐している。同じように「十分でない」に変更してはどうか。

委員長： 字句については、事務局で統一してもらうようにします。

委員： 7頁、施設の活用に、越智町にある大藪池谷津田広場の活用を追加してほしい。

委員： 8頁、避難所での障害者対応が難しいを課題に追加してほしい。

委員： 9頁、障害児・者を抱えている家族への地域での支援体制が十分でないを追加してほしい。

委員： 障害者の心のバリアフリーについても、今後検討していく必要がある。一般、健常者への働きかけに町内自治会の役割がある。町内自治会に福祉部を設置してある区もある。

解決策の中にでてくるだろう。

委員： 町内自治会に限界があり、守秘義務で民生委員とタイアッ

プできない。同じようにいきいきサロンへのひっぱり出し方が解らない。

委員： 障害であることを秘密にするのは止めようという動きがある。障害者の名簿を作る動きもある。

委員： 自閉症、ひきこもり対応を実際、町内会では言えない。

委員： 地区フォーラムは、分野ごとに集まったが、他分野のことで気づかなかつたりすることがある。実態を知ることが必要であり、急ぎすぎた感じがある。

委員長： 具体的な所を詰める中で、より精度を高める必要がある。作業部会で各地区フォーラムの意見を聴きながらやっていく。

委員： 地区によっては、町内自治会長がいない、学校が入っていないということがある。

委員： 地域子育て支援センター職員等による、学習会を開催したい。

委員長： そのような話があれば事務局を通して相談してください。

委員： 社会福祉協議会は、市社会福祉協議会と混同する。人材活用協力者であるなら、社会福祉協議会地区部会が適当である。

委員長： 統一して表記します。

(2) 平成17年度のスケジュールについて

事務局より、資料「平成17年度緑区地域福祉計画策定スケジュール(案)」を説明し、審議後案どおり承認を得た。

(別紙「緑区地域福祉計画今後の予定もご覧下さい」)

(3) その他

事務局より、次回区策定委員会の開催日程について説明。

5月22日(日)14時から。場所は緑区役所講堂(5階)。

次回フォーラムでは、資料を事前送付して、よく読んでもらうこととする。

以上